



1 目 的

近年、全国各地で局地的な災害が毎年のように発生しており、本県においても災害時における平時からの備えが求められています。社会福祉施設、社会教育施設等でも、災害対応マニュアルが策定されているところも多く、普段からの地域住民とのネットワークづくりや関係機関との連携が求められています。

もし災害が起きたら・・・ボランティアコーディネーターは地域内外のボランティアを含め、日頃のネットワークを活かして復旧・復興を進めていく必要があります。

本研修会では、災害時におけるボランティアコーディネーターとしての役割を学び、さらなる資質向上を図ることを目的に開催します。

2 日 時

平成26年9月11日（木）10：00～16：00

3 会 場

県立倉吉体育文化会館 中研修室（倉吉市山根529-2）

4 参加対象

本会主催の「ボランティアコーディネーター養成研修会」を過去に受講された方。実際にボランティアコーディネート業務をしている方。

5 内 容

9:30	10:00	10:10	12:00	13:00	16:00
受付	開会	シンポジウム	昼食休憩	ワークショップ	

※内容は、参加者の人数・所属等により変更になることがあります。

6 講 師

【コーディネーター】

山下 弘彦 氏（日野ボランティア・ネットワーク コーディネーター）

企業、NPO、社会福祉協議会、共同募金会等、多様なセクターとの協働により災害支援を進めるために設置されたネットワーク組織『災害ボランティア活動支援プロジェクト会議』からの派遣で、東日本大震災の被災地で活動。

県災害ボランティアセンターの運営支援や市町村災害ボランティアセンターの立ち上げ支援などの活動を行ってきた。現在も定期的に被災地で復興支援活動に携わる。

【シンポジスト】

- 社会福祉法人神戸聖隷福祉事業団 障害者支援施設 真生園 職員（調整中）

2004（平成16）年10月、西日本を中心に大きな被害をもたらした台風23号。兵庫県朝来市にある身体障害者支援施設「真生園」は想定外の水害に見舞われた。施設内へ土砂と水が流れこむ中、入所者を避難させ事なきを得たが課題も多かった。当時の緊迫した状況や、その後のボランティアコーディネーターとしての対応についてお話いただく。

- 井岡 仁志 氏

（社会福祉法人高島市社会福祉協議会 地域支援課長 兼高島市ボランティア・福祉学習センター長、社会福祉士、NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会理事）

2013（平成25）年9月、台風18号が福井県、滋賀県、京都府では記録的な大雨となった。滋賀県高島市社会福祉協議会では、平時から地元主体の団体・個人の防災プラットフォーム「高島市災害ボランティア活動連絡協議会」を設立しており、災害ボランティア活動に関する、共通理解・基盤整備等を推進していた。昨年の水害の際は、連絡協議会や平時からのネットワークを活かし、県内外の多くのボランティアの協力のもと災害ボランティアセンターの運営を行った。

7 参加申込

下記申込書により、9月1日（月）までに本会にお申込みください。

申込書に記入された個人情報、本研修会の参加受付や連絡、参加者名簿の作成以外には使用しません。なお、名簿に氏名、所属、役職名を掲載いただくことについてご了承ください。

8 お問い合わせ・申込み先

社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 地域福祉部（担当：桑村、金岡）

〒689-0201 鳥取市伏野1729-5 県立福祉人材研修センター内

電話 0857-59-6332 ファクシミリ 0857-59-6340

メール vc@tottori-wel.or.jp